

# 木木是好日

退任後もこの町にとどまり、活動を続けていきたいと話す鈴木さんの今後の活躍に期待を込めて

私の活動には、木材は欠かすことができません。私が困っている、住民の方々が杉やヒノキ、その他貴重な材をくださったり、力を貸してくださったりしました。皆さんのお力添えもあって、やり遂げた3年間。感謝してもしきれません。

3年間の感謝と川根本町でやっていきたいこと  
 本日に早いもので、9月をもって地域おこし協力の3年間が終わろうとしています。  
 桑野山貯木場での活動を振り返ると、いつも四季折々の風景やかわいい野生動物たちの姿がよみがえります。置いてある原木に付く虫を狙ってやってくる野鳥や、作業場にひょっこり現れたアナグマ。また、周りの山に目をやると、ナラ枯れが少し目立つものの、杉檜の間に春は山桜や山藤が咲き、この後冬が近づいてくれば紅葉を楽しむこともできます。自然と近い仕事をしてきたからこそ味わうことができた偶然の出会いに、感動しきりの毎日でした。

## 生活空間に寄り添う

木材を身近に感じて欲しい  
 ライフスタイルに合う形で提供を

「一般の方にも、木材を気軽に生活の中に取り入れて欲しい。」そんな思いから製作されたのが、くぎを一切使わない組み立て式の家具でした。これまでに寸又峡の町営施設に設置し、皆さんの目に触れることもあったと思います。「手作りだから大量生産には向かないけれど、皆さんの生活の中に寄り添えるような物を作りたい」と今後は、希望者に作り方を指導したり、製品として販売体制を整えたりと、これまで実現できなかった目標の達成に意欲的に取り組んでいくと話しました。



▲ 家の間取りに合わせて家具を製作する鈴木さん(右)  
 ▶ 鈴木さんが製作したイス。細部までこだわりが光る



## 林業と生涯学習

子どもたちの「やりたい」と「やってみる」を大切に

成木の香りと感触を  
 忘れないで欲しい

毎年10月に開催される焼津市との交流事業「海の子・山の子交流教室『山の体験』」では小学生が町の自然や産業について体験学習をします。昨年は、間伐作業の見学や、切り出した木材を使った木工工作、木こり体験などを楽しみながら、子どもたちは林業に触れることができました。昨年度、鈴木さんは木工工作の講師としてこの事業に携わり



▲ 「けんちゃん」の愛称で木工工作の先生として活躍  
 ▲ 初めて年輪を見た子どもたち 木の生育を調べる



「子どもたちに、スギやヒノキの香りや感触を味わって欲しい。自分が幼い頃、山で体験したような楽しい思い出をたくさん作って欲しい」という思いのもと、山間地域でしかできない体験プログラムを企画しました。テレビゲームやスマートフォンで遊び慣れている子どもたちに、本当に満足してもらえないか不安もあったそうですが、子どもたちからの「初めて見た間伐作業はすごい迫力だった」「木工工作は難しかったけど、完成したときの達成感が忘れられない」の声に「子どもたちの成長につながる森林教育の場を提供できて良かった。『教育』だけでなく、『地域産業』や『観光』などの様々な業種と山を結びつければ、この町の新たな魅力として発信できる可能性を感じた」と、今後の町の林業と町産木材の未来を見据えて、力を込めて話しました。

木工では様々な依頼がありまして。ペンチなどの大きなものから、お茶の袋を広げる道具や、灯籠、余興用の打ち出の小槌などなど。あとはイベントや学校、教育関係の行事、日々の木の加工や機械の整備など協力隊として多くの経験をさせていただきました。その中で気づいたこと、改善したいこと、試せなかったこともまだまだあります。3年間で培ったことを活かして、今後の活動につなげていきたいと思っています。

私が今、報告できることは、今後この町に居続けるといいうこと。いや、いさせてください。実は3年間で試せなかったことや仕事にかまをかけておろそかになっていた暮らしのこと、失敗から学んだこと、自分の仕事の在り方、大切な町の方々とつながり。これらを念頭に置いてこの川根本町でチャレンジを続けていきたいと考えています。

3年間お世話になり、本当にありがとうございました。そして今後もしっかりお願いします。

